



桑の緑

小坂小学校 学校便り

令和4年4月27日

文責：校長 濱本竜一郎

気付き、考え、行動する「優しい人になる」！！

本校の教育目標は、「気付き、考え、行動する 小坂っ子の育成」です。この目標は、小坂小学校が長年掲げてきたものです。

今年度は、文言こそ変わりませんが、そこに、「優しい人になる」という願いを込めてみました。

例えば、入学式で、新1年生の子供たちに次のように話しました。

さて、今から、入学に当たって、校長先生から皆さんに一つだけお願いをします。ちょっと難しいかもしれませんが、いやいや、もうできているという人もいるかもしれませんが、しっかり聞いてください。

それは、「やさしい人になる」ということです。

「やさしい人になる」と、お友達がたくさんできます。

「やさしい人になる」と、お勉強もできます。

「やさしい人」は、先生やお友達の話を生懸命聞こうとするからです。

「やさしい人」は、おうちの人や地域の人を大切にできます。

おうちの人や地域の人が困ったり、悲しんだりすることが嫌だからです。

おうちの人や地域の人が喜ぶことを進んでしようとするからです。

でも、「やさしい人になる」ということは、とても難しいことです。

実は、校長先生も「やさしい人」になることを、今も目指しています。

「やさしい人になる」。

校長先生からの、一つだけのお願いです。



さっそく、新1年生の子供たちが、「一緒に遊ぼう！」と声をかけています。ブランクの順番のルールも、きちんと守っています。優しい新1年生の子どもたちです。

もちろん、2年生以上も優しい子どもたちがたくさんいます。

新1年生が職員室の入り方がわからないで困っていると、「ここに立って、『〇〇先生に用事があります。入って良いですか』って言うとよ。わかった？」と教えてくれる優しい3・4年生がいました。

朝、正門であいさつ運動をしていますと、登校班の下級生を心配して、振り返り振り返り歩いてくる優しい5・6年生がいました。また、児童会の子供たちのあいさつ運動も素晴らしく、相手のことを思う優しい挨拶のモデルを示してくれています。

気付き、考え、行動する、優しい人がたくさんです。

